

猪狩誠也教授経歴並びに業績

経 歴

- 1933 (昭和8) 年 東京に生まれる。
- 1953 年 早稲田大学第一商学部入学。
- 1957 年 同大学卒業 4 月 ダイヤモンド社入社, 出版局に配属, 主に経営関係書籍編集に携わる。その間, ヴァンス・パッカード, ピーター・ドラッカーの翻訳書なども担当した。61 年, パッカードの『浪費をつくり出す人々』の翻訳をきっかけに南博, 石川弘義氏に知己を得て, 社会心理研究所に入所, 社会心理史の研究に参加。
- 1970 年 月刊『近代経営』編集長 (71 年6 月まで)
- 1971 年 取締役出版局長 (73 年9 月まで)
- 1973 年 ダイヤモンド・ビッグ社取締役 (代表取締役を経て, 77 年病気のため, 退任)
- 1978 年 (株) 現代経営研究会設立, 79 年『月刊総務』の発行および経済広報センター設立にあたり機関誌『経済広報センターだより』(のち『経済広報』に改題) の企画編集に携わる。(95 年3 月まで)
- 1986 年 成城大学文芸学部マスコミ学科非常勤講師 (93 年まで『パブリック・リレーションズ特講』を隔年に担当)
- 1987 年 現代広報研究所長 (94 年3 月まで)
- 1995 年 東京経済大学コミュニケーション学部発足に伴い, 教授就任
- 2004 年 同大学教授を定年により退職。

(学会における活動)

- 経営行動研究学会 (91 年4 月～ 現在, 理事)
- 日本出版学会 (94 年～)
- 日本広報学会 (95 年～ 現在, 副会長)
- 日本マスコミケーション学会 (00 年～)

(社会における活動)

- (社) 日本広報協会技術顧問 (1993 年～)
- (社) 日本パブリック・リレーションズ協会 (1986 年～, 92 年～94 年 理事)
- (社) 中央職業能力開発協会広報・広告分野専門委員会座長 (99 年～01 年)

猪狩誠也教授経歴並びに業績

(賞罰)

1999年6月 日本PR大賞特別賞・教育学術部門賞受賞(日本パブリック・リレーションズ協会)

業績 (単行本)

- ・南博・社会心理研究所編『大正文化』, 「レジャー産業のおこりと大衆化」, 「新中間層の社会意識」等分担執筆, 勁草書房, 65年8月
- ・『燃える戦略集団——C&C時代を切り拓く日本電気』, 日本リクルートセンター, 79年
- ・南博編『社会心理学読本』, 「レジャーの社会心理」等分担執筆, 東洋経済新報社, 80年4月
- ・『エディターの発想——ビジネスマンの企画編集術』, 共著, 筑摩書房, 83年10月
- ・南博・社会心理研究所編『昭和文化』, 「スポーツ——国際化と大衆化」分担執筆, 勁草書房, 87年4月
- ・『企業広報とは——事例と発言』, 編著, 経済広報センター, 89年3月
- ・『企業広報マニュアル』, 堀章男と共著, PHP 研究所, 90年8月
- ・石川弘義・津金沢聡廣他編『大衆文化事典』, 「経営家族主義」「年功序列」「窓際族」その他14項目執筆, 弘文堂, 91年2月
- ・紅林茂夫・中村元一編『社会と企業』, 「企業変革と広報の役割」分担執筆, (社会と企業シリーズ第1巻), 都市文化社, 92年6月
- ・猪狩誠也編『広報・コミュニケーション戦略』, 「開かれた企業へ」「広報とリスク・マネジメント」分担執筆, (社会と企業シリーズ第3巻), 都市文化社, 92年12月
- ・猪狩誠也・城義紀編『経営と広報』(企業広報講座第1巻), 「企業広報とは何か」「企業文化と広報」「経営の中の広報」「国際広報の基本」分担執筆, 日本経済新聞社, 93年4月
- ・堀章男・久保田剛敏編『企業イメージと広報』(企業広報講座第2巻)「企業活動と企業イメージ」「情報の収集と管理」「対象別・目的別情報発信」分担執筆, 日本経済新聞社, 93年8月
- ・『現代企業広報論』, 単著, 現代広報研究所, 95年3月
- ・日本出版学会編『出版の検証』, 「経営学ブームが意味するもの」分担執筆, 文化通信社, 96年12月
- ・猪狩誠也編『企業の発展と広報戦略——50年の歩みと展望』, 第1章「戦後日本におけるパブリック・リレーションズの導入と展開」, 第3章「企業批判の嵐の中で」分担執筆, 日経 BP 企画, 98年12月
- ・サラリーマン再生委員会編『あなたは会社を棄てられるか』共同執筆, NHK 出版, 99年3月
- ・猪狩誠也・上野征洋・剣持隆・清水正道・城義紀共著『コーポレート・コミュニケーション戦略——経営変革へ向けて』, 「経営とコミュニケーション」, 「広報の歴史」, 分担執筆, 同友館, 02年5月

猪狩誠也教授経歴並びに業績

- ・サラリーマン再生委員会編『サラリーマン・OLの生き方事典』, 共同執筆, NHK 出版, 03年3月
- ・津金沢聡廣・佐藤卓巳編『広報・広告・プロパガンダ』(叢書 現代のメディアとジャーナリズム)「現代日本の企業広報——現状と課題」分担執筆, ミネルヴァ書房, 03年10月
- ・東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科編『日本の国際情報発信』, 「日本企業の国際的情報発信」, 分担執筆, 芙蓉書房出版, 04年3月

業績 (論文)

- ・「広報活動に求められるもう1つの役割」『ダイヤモンド・ハーバードビジネス』, 82年8月
- ・「広報は戦略部門たりうるか」, 『戦略広報情報』, 現代広報研究所, 86年4月
- ・「求められる戦略意識—広報活動」, 『経営活動とパブリック・アフェアーズの課題』, 国民経済研究協会企業環境センター, 86年3月
- ・「現代広報論」, 『季刊・経営行動』, 経営行動研究所, 87年6月
- ・「企業の社会的責任を再検討する—企業広報のレーゾンデートルは何か」, 『季刊・経営行動』, 経営行動研究所, 88年3月
- ・「PRとプロパガンダ」, 『戦略経営情報』, 現代広報研究所, 88年7月
- ・「転機に立つ日本の企業文化」, 『NEXT AGE』, 住友商事, 91年1月
- ・「危機管理と広報」, 『現代のエスプリ: 広報の時代』藤竹暁編, 至文堂, 91年3月
- ・「魅力的企業とは」, 『関西経協』, 関西経営者協会, 91年3月
- ・「企業とマスメディアとのコミュニケーション」, 『企業と社会のコミュニケーション—アンケート調査報告』, 経済広報センター, 91年7月
- ・「社内広報の再構築が企業活性化につながる」, 『財界』, 財界研究所, 91年12月
- ・「企業広報の〈基本的視座〉とは何か」, 『宣伝会議』, 宣伝会議, 92年7月
- ・「活性化と社内広報の役割」, 『経営者』, 日経連, 93年3月
- ・「企業変革期における社内報の役割」, 『社内報特別資料』, 日経連, 93年4月
- ・「企業広報とは何か」, 『新聞経営』, 日本新聞協会, 94年6月
- ・「企業は市民と共存できるか」, 『平和経済』, 平和経済計画会議, 94年7月
- ・「変革期のコーポレート・コミュニケーション」, 『経営環境レビュー』, 東レ経営研究所, 95年10月
- ・「企業広報はどう変わったか」, 『第1回から第6回までの企業の広報活動に関する意識実態調査報告書解説』, 経済広報センター, 96年9月
- ・「繰り返すバブル経済とジャーナリズム」, 『経営環境レビュー』, 東レ経営研究所, 97年

3月

- ・「日本の企業・団体の広報誌」, 『広報誌に関するアンケート調査』, 経済広報センター, 97年4月
- ・「The Influence of Globalization: An Analysis of the Survey Results」, 『Gold Paper』 12, International Public Relations Association.
- ・「グローバル化と世界の企業広報——IPRAの国際調査から(1)」, 『経済広報』, 経済広報センター, 97年11月
- ・「広報意識を強く持つトップ——IPRAの調査から(2)」, 『経済広報』, 経済広報センター, 97年12月
- ・「グローバル戦略の中の広報へ——IPRAの調査から(3)」, 『経済広報』, 経済広報センター 98年1月
- ・「企業表現法」, 『現代のエスプリ: 現代表現法』, 藤竹暁編, 至文堂, 98年2月
- ・「科学技術理解増進広報テキスト」 科学技術広報財団, 99年2月
- ・「問題提起型広報の役割と必要性」, 『広報』, 日本広報協会, 00年2月
- ・「企業のコミュニケーション・リスク」, 『リスク・マネジメント』, ダイヤモンド・フィナンシャル・プランナーズ社, 00年10月
- ・「時代の潮流とPR誌の役割——PR誌を作るために(1)」, 『編集会議』, (株) 宣伝会議, 00年10月
- ・「読者の顔が見えているか——PR誌をつくるために(2)」, 『編集会議』, (株) 宣伝会議, 00年11月
- ・「企業として制作体制は整っているか——PR誌をつくるために(3)」, 『編集会議』, (株) 宣伝会議, 01年2月
- ・「戦略的情報活動の一環——PR誌をつくるために(4)」 『編集会議』, (株) 宣伝会議, 01年4月
- ・「ウェブ・マガジンと紙マガジン——PR誌をつくるために(5)」 『編集会議』, (株) 宣伝会議, 01年5月
- ・「PR誌の再発見を——PR誌をつくるために(6)」 『編集会議』, (株) 宣伝会議, 01年6月
- ・「知識創造の空間——企業広報誌のいま」 『月刊広報』, 日本広報協会, 02年3月
- ・「企業の社会化——社会的感性を考える」(宮田稷と共同執筆) 『コミュニケーション科学』 16号, 東京経済大学コミュニケーション学会, 02年3月
- ・「情のコミュニケーションと知のコミュニケーション」 『東経大学術研究センター年報』 第2号, 02年5月
- ・「“体験”の近似共有化と知識創造の道を踏む」 『社内広報』, 日本経団連, 03年4・5月

猪狩誠也教授経歴並びに業績

- ・「コミュニケーション行動に潜む危機——山一証券の崩壊を通じて」『経営リスクと効果的なコミュニケーション』，日本広報学会・研究会報告書，03年3月